

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係表】

URGCC-Advanced学習教育目標		高度教育実践教育プログラム		
		専門性	創造性	倫理性
大学院教育プログラム学習教育目標	<p>よりよい問題解決のためには、その問題に応じた形で合理的（論理的・客観的・共感的・多面的理解を含む）かつ反省的に問題を捉え、解決策を探索・策定し、実行し、その結果をきちんと振り返ることによって次の問題解決に生かしていく、という汎用的な問題解決の流れを意識しながら教育活動を行うことにより、未知の問題に対しても適切に取り組める</p> <p>(1)新しい学びの指導に長け、将来のリーダー候補となる初任教員</p> <p>(2)学習支援力や生徒理解力に長けた中堅教員</p> <p>(3)職場内外の人間関係調整や企画力に長けた教員を育てます。</p> <p>厳正な評価を各授業科目で行った結果、共通科目20単位、選択科目10単位以上、教育実習10単位以上、課題研究8単位の計48単位以上を修得した者に対し、修了を認定し、教職修士（専門職）の学位を授与します。</p>	<p>専門分野に関する高度な知識、技能、思考法を体系的に身に付ける。</p>	<p>知識、技能、思考を独創的・創造的に発展させ、活用することができる。</p>	<p>高度な倫理性を身に付けるとともに、社会的責任の熟慮を欠かすことなく、主体的に行動することができる。</p>
	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)</p> <p>よりよい問題解決のために、合理的・反省的に思考することを求めることで、反省的实践家としての教師の「専門性」を身に付け、解決策を探索的に探求し、その結果を振り返って次に生かすことで「創造性」を身に付けることを目標としている点。</p> <p>また、将来のリーダー候補として、あるいは中堅教員として人間関係調整を学ぶ中で、教師としての「倫理性」を身に付けることを目標としている点。</p>			